

一隅を照らす運動総本部だより No.30



一隅を照らす運動ホームページアドレス
<http://ichigu.net>



一隅を照らす運動 理事会を開催

平成25年1月16日、天台宗務庁（滋賀県大津市坂本）において一隅を照らす運動理事会が開催され、平成25年度の一隅を照らす運動の事業計画や予算案を審議し、

- ・平成25年度「一隅を照らす運動」
通常会計歳入歳出予算 69,300,000円
- ・平成25年度「一隅を照らす運動」
地球救援事業特別会計歳入歳出予算
33,500,000円

が承認された。

会議の冒頭で、森川宏映一隅を照らす運動副会長から「一隅を照らす本質である、

ポストにベストを尽くし、己を忘れて他を利する人を育てていきましょう」と挨拶があった。

また、武副理事長からは「慈覚大師1150年御遠忌を迎え、一隅を照らす運動と天台宗の活性化を計ってまいりたい」との挨拶があった。



第27回全国一斉托鉢

平成24年12月1日、第27回天台宗全国一斉托鉢が行われ、12月の「地球救援募金強化月間」中は各教区本部を中心に戸別托鉢や街頭募金が展開された。今回も大勢の方の協力により平成25年1月20日現在で教区本部59会場の実施報告があった。

全国での募金総額は9,465,362円で、これらの浄財から地域社会福祉向上のために地元の社会福祉協議会やNHKの歳末たすけあい運動などに届けられたほか、一隅を照らす運動総本部「地球救援事務局」に4,204,886円が寄託された。

各地の様相（中間報告）

延暦寺一山

12月1日、比叡山麓坂本では半田孝淳天台座主猊下を先頭に延暦寺一山住職や天台宗務庁役職員など約100名が托鉢行脚。坂



本界限の戸別托鉢では423,852円の浄財が寄せられ、毎年恒例の托鉢を楽しみに待たれている人も多かった。また、延暦寺一山の寺庭婦人会の協力のもと、寺庭婦人と天台宗務庁役職員が京阪坂本駅、JR堅田駅、JR比叡山坂本駅で実施した街頭募金では、合わせて62,534円の浄財が寄せられた。

滋賀教区本部

12月1日、浅坂部の米原市周辺で総勢56名が12班に分かれて戸別托鉢を実施。各戸を訪問。土曜日ということもあり例年に比べ留守の家も少なく、多くの浄財が集まった。地球救援に265,008円寄託。

京都教区本部

12月1日、総勢27名が京都市中京区四条河原町、高島屋、マルイ前にて街頭托鉢を実施。参加者は四条河原町にて2班に分かれ、「歳末たすけあい運動へのご協力」をスローガンに通行人に募金を呼び掛けた。家族連れを中心に大勢の方から浄財をお預かりした。京都新聞社会福祉事業団に209,327円を寄託、東日本大震災慰霊法要に284,326円を御供えした。



近畿教区本部

12月1日、総勢11名が心斎橋筋戎橋付近にて街頭托鉢を実施。仏青が中心となり、突風が吹く悪天候の中、「一隅を照らす運

動」を説明するグループ、喜捨を受けるグループの二手に分かれ托鉢を行った。地球救援に62,294円、パンニャ・メッタに62,293円を寄託。



兵庫教区本部

- ・第二部では、12月1日、観明院周辺にて総勢37名が5班に分かれ、戸別托鉢を実施。事前に浄財袋を配布した効果もあり、温かく迎えていただいた。地球救援に48,215円、篠山市社会福祉協議会に90,000円と砂糖44kg、洗剤26個、加東市社会福祉協議会に20,000円と砂糖10kg、三田市社会福祉協議会に20,000円をそれぞれ寄託。
- ・第三部では、12月1日、悟真院周辺にて総勢77名が参加し、悟真院檀徒を中心に戸別托鉢を実施。346,201円の浄財が集まった。地球救援に173,000円を寄託。福崎町社会福祉協議会に173,201円を寄託。
- ・第四部では、12月1日、総勢10名が山陽



姫路百貨店前から姫路城までの間、托鉢行脚を実施。一隅を照らす運動パンフレット、ティッシュを配布すると、賛同していただくことができた。地球救援に84,504円を寄託。

- ・第五部では、11月4日、総勢11名が進美寺周辺にて戸別托鉢を実施。この地域は平成16年に台風23号の被害を受けており、災害に対して非常に意識が高い為、多くの方からの喜捨がいただけた。地球救援に40,000円、豊岡市共同募金委員会に37,500円を寄託。
- ・第六部では、12月1日、総勢40名が5班に分かれ、常勝寺周辺にて戸別托鉢を実施。例年恒例の行事として、地域にも根付いているため、浄財を準備しておいて下さる方もおられた。地球救援と丹波市社会福祉協議会にそれぞれ39,050円を寄託。

岡山教区本部

11月30日、第四部では玉島市街にて住職・檀信徒ら総勢51名が参加し、戸別托鉢を実施。206,006円の浄財が集まった。地球救援に156,006円、玉島社会福祉協議会に50,000円を寄託。

山陰教区本部

- ・第一部では、12月3日、三朝温泉街と周辺地域にて7名が参加し、戸別托鉢を実施。188,657円の浄財が集まった。地球救援に90,000円、三朝町社会福祉協議会に98,657円を寄託。
- ・第二部では、12月1日大山寺にて通年募金箱を設置し募金活動を実施。大山町社会福祉協議会に25,800円を寄託。
- ・第三部・第四部は合同で、12月1日に松江市内で戸別托鉢を実施。部内から5名が参加。97,653円の浄財が集まった。地球救援に50,000円、NHK歳末たすけあいに47,653円を寄託。

四国教区本部

12月1日、第一部では総勢30名が高松市内ことでん瓦町駅前から高松市中央商店街まで約1.2km間、托鉢行脚を実施。東日本大震災をはじめ、各自然災害に対する意識が高く、多くの浄財が集まった。地球救援に116,855円を寄託。



九州東教区本部

- ・第1教部では12月1日、国東市内中央部にて9名が参加し、戸別、街頭托鉢を実施。県内をはじめ、全国においても様々な災害が発生したこともあり、市民の意識も高く、心よく募金活動に賛同いただけた。大分新聞社歳末たすけあいに30,000円を寄託。
- ・第2教部では12月1日、部内9寺院において、各寺院檀信徒に喜捨をお願いした。地球救援に45,000円を寄託。
- ・第3教部では12月1日、豊後高田市内に



て11名が参加し、街頭托鉢を実施。毎年恒例の行事として、軒先で待っていて下さる市民の方もあった。184,520円の浄財が集まった。地球救援に114,520円、豊後高田市交通安全協会に70,000円を寄託。

- ・第4教部では12月1日、大分市内で10名が参加し街頭托鉢実施。中高生から年配の方まで幅広い年齢層からの協力が得られた。地球救援に37,775円を寄託。
- ・第5教部では11月27日、善正寺にて6名が参加、部内寺院より協力金を募り、各地仏教会の募金を集めた。地球救援に24,506円を寄託。
- ・第6教部では12月1日、各寺院で檀信徒を対象に托鉢を行い、地球救援に10,000円を寄託。

九州西教区本部

- ・筑前部では11月26日、清瀧寺周辺で16名が2班に分かれて戸別托鉢を実施。夕暮れの寒さの中、「ご苦労様です」の声をいただき、心温まる托鉢であった。地球救援に124,434円を寄託。
- ・久留米部では12月6日、久留米市一番街から二番街商店街まで8名で戸別托鉢を実施。人通りは少なかったが、戸別に訪ねていくと、心よく喜捨していただくことができた。地球救援に50,639円を寄託。
- ・柳川部では11月30日、長命寺周辺で9名



が2班に分かれて戸別托鉢を実施。毎年恒例として、地域に定着しており、心待ちにされている様子を感じた。地球救援に30,319円を寄託。

- ・熊本部では12月4日、宇土市商店街にて10名が戸別托鉢を実施。地球救援に27,445円を寄託。
- ・肥前東部、肥前西部合同托鉢では、12月4日、佐賀市中央大通りにて16名が2班に分かれて戸別、街頭托鉢を実施。風が強く、寒さ厳しい日となったが、各店舗より協力を得ることができた。地球救援に47,215円を寄託。
- ・対馬部では12月15日、対馬市比田勝商店街にて19名が戸別、街頭托鉢を実施。あいにくの雨模様であったが、年末恒例行事となっており、心よく喜捨いただけた。地球救援に43,472円、対馬市社会福祉協議会に10,000円を寄託。

三岐教区本部

11月2日、山県市慈明院周辺で総勢26名が3～4名のグループに分かれて戸別托鉢を実施。寒い中での托鉢であったが、皆玄関に出て温かく迎えてくださり、共に般若心経をお唱えした。地球救援に150,200円を寄託。

東海教区本部

- ・12月21日、総勢10名が名古屋市千種区、覚王山日泰寺玄関前にて街頭托鉢を実施。冷たい風の吹く中、「ご苦労様」と労いの言葉をいただきながら、多くの方々からの協力が得られた。地球救援に100,000円を寄託。
- ・第五部の吉祥院では、12月1日から7日まで托鉢を実施。期間中25名が参加し、毎晩18時30分から2時間、4班に分かれ、ご詠歌を唱えながら行脚した。地球救援に30,000円、知多市社会福祉協議会に

500,000円、共同募金に75,771円を寄託。

北陸教区本部

11月25日、鯖江市光明寺周辺にて総勢19名で戸別托鉢を実施。快晴に恵まれ、布施者は冬支度の手を休め快く募金に協力いただいた。地球救援に131,000円を寄託。



神奈川教区本部

11月30日川崎駅東口銀柳街商店街で総勢33名にて街頭托鉢を実施。6班に分かれて通行人にチラシとティッシュを配布しつつ募金を呼び掛けた。また、本年も事前に各寺院へ募金をお願いしていたため多額の浄財が集まり、地球救援に200,000円、教区救援募金に65,789円、教区仏青救援募金に100,000円を寄託。



東京教区本部

12月10日、総勢36名が浅草寺宝蔵門前に

て街頭托鉢を実施。天台宗マスコットキャラクター「しょうぐうさん」も参加し、とても人気があった。地球救援に100,000円、あしなが育英会に100,000円、港区社会福祉協議会に71,865円を寄託。

北総教区本部

12月1日、印西市小林駅周辺で17名にて2班に分かれ戸別托鉢を実施。事前にチラシを配布していた為、気持ちよく協力いただけた。集まった浄財と寺院住職からの浄財を合わせて190,750円を地球救援に寄託。



南総教区本部

12月11日、外房線、太東駅前にて総勢30名で托鉢を実施。天候に恵まれ、多くの方からの喜捨がいただけた。タイのプラティープ財団に81,005円を寄託。

埼玉教区本部

12月1日、川越駅前、熊谷駅前にて総勢19名で街頭托鉢を実施。川越駅前クレアモールでは道行く買い物客が多く中高生を始め反応がとても良かった。地球救援に149,583円、天台仏青連盟救援後援会に44,836円を寄託。

群馬教区本部

・南前橋部では、12月3日、総勢93名が前橋市來迎寺、泉藏寺周辺にて戸別托鉢を

- 実施。地球救援に281,242円、群馬教区一隅に200,000円を寄託。
- ・北前橋部では、12月6日、総勢20名が前橋市天王寺周辺にて街頭並びに戸別托鉢を実施。風が冷たく厳しい托鉢であったが、労いの声をいただくことができた。地球救援に44,948円、群馬教区一隅に40,000円、上毛新聞社に100,000円を寄託。
 - ・西前橋部では、12月1日、総勢29名が長泉寺檀信徒各家を中心に戸別托鉢を実施。地球救援に123,000円、群馬教区一隅に123,000円、京ヶ島地区社会福祉協議会に50,000円、仏教保護会に50,000円、上毛新聞社に52,032円を寄託。
 - ・高崎部では、12月6日、例年実施している高崎仏教会として、他宗の住職方含め総勢28名（内天台4名）が高崎市にて街頭並びに戸別托鉢を実施。群馬教区一隅に50,000円を寄託。
 - ・富岡部では、12月1日、12月8日、富岡甘楽妙義仏教会托鉢に合わせ、総勢18名（内天台7名）が富岡市内、甘楽町内にて街頭、戸別托鉢を実施。恒例の行事として、毎年実施している為、意識も高く、気持ちよく喜捨いただくことができた。地球救援に10,000円、群馬教区一隅に20,000円、富岡市社会福祉協議会に167,308円、甘楽町社会福祉協議会に46,353円を寄託。
 - ・多野部では、11月23日、浄法寺で行われ



- た多野部檀信徒会・伝道師会・合同研修会において募金活動を実施。地球救援に24,000円、群馬教区一隅に24,000円を寄託。
- ・北群馬部では、12月1日、総勢68名が渋川市内にて街頭托鉢を実施。地球救援に173,000円、上毛新聞社に100,000円、渋川市社会福祉協議会に100,000円を寄託。
- ・桐生部では、12月4日、総勢20名が桐生市本町から錦町にかけて街頭托鉢行脚を実施。店舗の閉店に加え、人通りも少ないなかであったが、心よく募金していただけた。次回以降、実施場所の再検討を考えている。地球救援に37,217円、群馬教区一隅に30,000円を寄託。
- ・東前橋部では、12月1日、総勢10名が前橋市内にて戸別托鉢を実施。地球救援に60,000円、群馬教区一隅に60,000円を寄託。
- ・世良田部では、12月1日に托鉢を実施、地球救援に30,000円、群馬教区一隅に5,000円を寄託。
- ・下仁田部では、12月1日、総勢12名が下仁田町、南牧村にて戸別托鉢を実施。この地区の托鉢は甘楽西部仏教会が主催し、昭和20年代から実施している。地元住民の認知度も高く、とても協力的である。地球救援に15,000円、群馬教区一隅に15,000円、下仁田社会福祉協議会に55,343円を、南牧村社会福祉協議会に49,085円を、仏教連合会に20,000円を寄託。

茨城教区本部

- ・12月1日、筑西市下館駅前、同駅北口周辺において総勢5名で街頭托鉢を実施。当日はみぞれが降り、厳しい寒さの中での托鉢であったが、土曜日ということもあり募金に応じて下さる方も多かった。茨城県共同募金会西支部に131,764円を寄託。
- ・12月1日、第二部千光寺周辺にて総勢13名で戸別托鉢を実施。当日は悪天候で実

施が危ぶまれたが、天気も次第に回復し、皆様からの温かな労いのお言葉をいただきながら無事に托鉢を終えることができた。地球救援に72,227円、茨城教区ラオス学校建設基金に50,000円を寄託。

栃木教区本部

11月27日に岩舟町文化会館において円仁イベントで声明講演を開催し、その後托鉢をした。公演終了後に会場で募金活動を実施し32名が参加した。195,623円もの多額の浄財が集まった。

また、12月8日には宇都宮オリオン通りで二手に分かれて、街頭托鉢を住職ら10名で行った。13,435円の浄財が集まった。

福島教区本部

12月1日、本宮市市街地周辺で総勢23名にて托鉢行脚を実施。雪の降る悪天候であったが、事前のチラシ、新聞広告等の効果もあり、市民の多くが協力して下さった。地球救援に110,115円、本宮市社会福祉協議会に50,000円を寄託。

また、第四部龍興寺支部では、「第25回歳末たすけあい詠讚托鉢」として、詠讚会・伝道師会の会員、総勢20名が会津美里町、高田町内で托鉢を実施。「伝教大師讃仰のご和讃」を詠唱しながら町内各戸を巡り「忘己利他・一隅を照らす」精神の実践につとめた。東日本大震災義援金と福島民報社厚



生文化事業団にそれぞれ45,110円を寄託。

陸奥教区本部

11月11日、第三部神宮寺周辺で27名が戸別托鉢を実施。当日は天候に恵まれ、僧侶が伺った折には読経に手を合わせ「ご苦労様です。被災された皆様、恵まれない子供達に少しでもお役に立ててください」と温かなご協力をいただくことができた。地球救援と平川市社会福祉協議会にそれぞれ56,000円を寄託。



山形教区本部

11月1日、山寺部立石寺周辺で総勢47名が根本中堂、奥の院入山道、立石寺近辺の各店舗にて街頭、戸別托鉢を実施。事前の宣伝により周知されていたこともあり、気持ちよく浄財を寄付していただいた。寒い天候の中、商店街や各戸を廻った。東日本大震災復興支援として185,555円を寄託。

平成24年度支部活動助成支部

一隅を照らす運動総本部では、平成19年度から宗祖伝教大師のお言葉「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」の精神で社会奉仕活動を永年にわたり実践する支部を奨励し助成を行なっています。平成24年度の助成支部は以下の通り。

延暦寺一山本部

法輪院支部（檀木良幸支部長）

- ・事業名：特定非営利活動法人ふくろう
西区支部
- ・活動年数：5年
- ・該当事業：地域社会防犯活動
- ・回数：年間通じて100回
- ・場所：兵庫県神戸市西区全域
- ・人数：寺族2名・信徒10名
- ・要旨：NPOふくろうの組織より神戸市西区を対象として「西区支部」を平成23年3月より発足、寺名義の青色防犯パトロールカー2台で巡回パトロール、1台は寺に1台は檀信徒部落の公民館に配置して活動している。

近畿教区本部

神峯山寺支部（近藤眞道支部長）

- ・事業名：海外派遣および来日海外留学
高校生対象 坐禅会とお茶会
- ・活動年数：20年
- ・該当事業：教育・文化
- ・回数：年間通じて2回
- ・場所：大阪府高槻市原
- ・人数：寺族3名・職員15名・一般100名
- ・要旨：20年前より開催され今日までに約500人の高校生が参加している。感情豊かな日本と海外の高校生に日本文化、日本思想の根幹である仏教思想にふれてもらい、思想、文化、宗教を体得してもらっている。

兵庫教区本部

潮海寺支部（檀木良仁支部長）

- ・事業名：ご詠歌の会・仏教文化講座・
座禅会・写経会
- ・活動年数：18年
- ・該当事業：福祉・教育・まちづくり・文化

- ・回数：年間通じて48回
- ・場所：兵庫県神戸市西区
- ・人数：寺族4名・檀徒60名・一般500名
- ・要旨：地域に貢献できる人となる為に詠歌の会、仏教文化講座、座禅会、写経会、寺院巡拝、大峰修行、親睦会を催し、地域向け事業として、アソカフェスティバル、地蔵本祭り、採灯護摩にて無料炊きだし、芸術文化振興、子どもや地域住民の教化につとめている。

兵庫教区本部

長光寺支部（雲井明善支部長）

- ・事業名：地域高齢者の慰問・慰労事業
- ・活動年数：25年
- ・該当事業：清掃奉仕・福祉・慰問
- ・回数：毎月1日・第2水曜日・第4水曜日
- ・場所：兵庫県明石市大久保町谷八木
- ・人数：寺族1名・檀徒5名・信徒3名・一般8名
- ・要旨：谷八木公民館・老人憩いの家等において、喫茶、おしゃべりの場を設け孤独になりがちな高齢者に交友の場を提供。毎月施設へ訪問し勤労奉仕をしている。



兵庫教区本部

高蔵寺支部（福井邦準支部長）

- ・事業名：桜・紅葉・あじさい植樹
- ・活動年数：3年
- ・該当事業：清掃奉仕・環境保全
- ・回数：年間通じて2回
- ・場所：兵庫県篠山市高倉
- ・人数：檀徒30名
- ・要旨：地域活性化のため境内に桜・紅葉・あじさいを植樹し、地域のやすらぎの場として環境整備を行っている。



兵庫教区本部

阿彌陀寺支部（永井快俊支部長）

- ・事業名：オープンガーデン
- ・活動年数：6年
- ・該当事業：まちづくり
- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：兵庫県姫路市
- ・人数：寺族1名・檀徒2名・一般70名
- ・要旨：オープンガーデンの開催を通じての地域住民との交流会の開催。花を



活かした、まちづくりの為に研修会やセミナーなどを開催している。

兵庫教区本部

弥勒寺支部（草別碩善支部長）

- ・事業名：ほてい祭り
- ・活動年数：10年
- ・該当事業：リサイクル・文化
- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：兵庫県姫路市夢前町
- ・人数：寺族4名・檀徒10名・信徒5名・一般20名
- ・要旨：毎年11月3日にほてい祭りを実施し、境内を無料開放しフリーマーケットを行っている。近年は地域の住民がこぞって農作物等を販売している。

兵庫教区本部

無障金剛院支部（横山豊宥支部長）

- ・事業名：一隅を照らす活動
- ・活動年数：5年
- ・該当事業：清掃奉仕・環境保全・まちづくり
- ・回数：毎朝
- ・場所：兵庫県西宮市甲陽園
- ・人数：寺族1名・一般3名
- ・要旨：地域の安全のために、日中のパトロールと清掃、ゴミ拾い、夏祭りの手伝いを行っている。

岡山教区本部

神護寺支部（北野恵祥支部長）

- ・事業名：地蔵盆會・吉川園児と老人クラブの交通安全教室
- ・活動年数：5年
- ・該当事業：まちづくり
- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：岡山県加賀郡吉備中央
- ・人数：寺族1名・檀徒5名・一般52名
- ・要旨：地蔵盆とあわせて、地域の保



育園児と老人の方をお寺に集め、警察の方による交通安全教室を開催し、まちづくりに貢献している。

山陰教区本部

大雲院支部（田尻光照支部長）

- ・事業名：地蔵盆子供夜店
- ・活動年数：28年
- ・該当事業：まちづくり
- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：鳥取県鳥取市立川町
- ・人数：寺族5名・信徒10名・一般250名
- ・要旨：小4から中2までの子どもが夜店を担当し、大人の補助を得ながら一括して運営して様々な勉強をしてもらう。一隅を照らす運動の一環として活動し、売上金は全額を子ども学園に寄付している。

山陰教区本部

座光寺支部（中村満直支部長）

- ・事業名：座光寺清掃作業
- ・活動年数：20年
- ・該当事業：清掃奉仕
- ・回数：年間通じて6回
- ・場所：鳥取県鳥取市
- ・人数：寺族2名・檀徒54名
- ・要旨：年6回行っているが特に7月の作業はお盆の前の作業なので、午後一

時より四時半頃まで作業している。班ごとにわかれ草刈り、剪定、伐採、トイレ、台所等の清掃を行う。時間があれば、グラウンドゴルフに使用しているため境内の整地も行っている。

山陰教区本部

大日寺支部（見上知正支部長）

- ・事業名：子ども田んぼ
- ・活動年数：4年
- ・該当事業：環境保全・教育・まちづくり
- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：鳥取県倉吉市桜
- ・人数：寺族1名・檀徒13名
- ・要旨：休耕田を活用して子どもたちに一年を通じて、米作りを体験、村人も参加して地域のまちづくり行事を行っている。

山陰教区本部

皆成院支部（清水成真支部長）

- ・事業名：国際交流 夏の集い
- ・活動年数：10年
- ・該当事業：まちづくり・文化
- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：鳥取県三朝町三徳
- ・人数：寺族2名・信徒8名・一般15名
- ・要旨：鳥取県在住の国際交流員や、各学校のALTをはじめ、外国の方々に、仏教の教えや天台宗の一隅を照らす運動の教えなどを話す。また、座禅や写経などを通して日本の文化にふれる事や、お互いの活動を通して文化の違いを認め合い、理解を深める国際交流を行っている。

山陰教区本部

興隆寺支部（市原俊修支部長）

- ・事業名：山寺コンサート
- ・活動年数：3年
- ・該当事業：まちづくり・文化

- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：山口県山口市大字御堀
- ・人数：寺族3名・信徒20名・一般250名
- ・要旨：山口の伝統芸能である鷺流狂言を中心に子どものわらべ唄、雅楽、25弦箏ユニットによる箏の演奏、ブラスオーケストラの演奏等多彩な催しをしてみちづくりを行っている。

九州東教区本部

善正寺支部（野中玄雄支部長）

- ・事業名：第27回延岡「橋の日」
- ・活動年数：27年
- ・該当事業：清掃奉仕・環境保全
- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：宮崎県延岡市中央通り
- ・人数：寺族2名・檀徒30名・信徒20名・一般250名
- ・要旨：橋の日は、橋に感謝、健康増進と郷土の発展を願う。当日は午前6時よりラジオ体操、その後に式典があり、東日本大震災の犠牲者慰霊と被災地復興祈念の黙祷などを行った。

三岐教区本部

正行院支部（傍島法苑支部長）

- ・事業名：正行院月例行事
- ・活動年数：18年
- ・該当事業：教育・地域住民との交流



- ・回数：年間通じて80回
- ・場所：岐阜県不破郡垂井町
- ・人数：寺族2名・檀徒10名・信徒20名・一般20名
- ・要旨：毎月つどいの会を開催している。午前は参加者の先祖供養、説法をし、午後は数珠修理などの講座を通じて地域住民との交流をしている。

三岐教区本部

不動院支部（高木誠海支部長）

- ・事業名：はぐはぐサークル
- ・活動年数：5年
- ・該当事業：福祉
- ・回数：年間通じて12回
- ・場所：岐阜県岐阜市日野西
- ・人数：寺族3名・一般8名
- ・要旨：談話や境内散策、星を見る会などを行い、ひきこもり、不登校、DV等、人間関係の理解を改善する心のケアを地域で行っている。

東海教区本部

圓観寺支部（加藤大道支部長）

- ・事業名：写経会・老人ホームや集いに慰問・お祭り
- ・活動年数：40年
- ・該当事業：福祉・慰問・文化・地域住民とのふれあい
- ・回数：年間通じて12回
- ・場所：愛知県知多郡武豊町
- ・人数：寺族6名・檀徒50名・信徒10名
- ・要旨：写経会やお祭りは当山の施設や境内地を解放、『きらめき』は檀信徒や参詣者に配布、老人とのふれあいに施設を訪問し法話等をして、福祉活動を行っている。

東海教区本部

智満寺支部（北川教裕支部長）

- ・事業名：一隅を照らす運動第52回東海教区8部檀信徒会観音寺会場
- ・活動年数：52年
- ・該当事業：会員間の交流勉強会
- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：静岡袋井市山崎
- ・人数：寺族12名・檀徒40名・信徒10名
- ・要旨：多数の会員があつまり、寺院行事などで地域住民との密接な関係を築けるような活動などを提案し、地域社会に貢献している。



東海教区本部

蓮華寺支部（高木善立支部長）

- ・事業名：一隅を照らす運動の会
- ・活動年数：32年
- ・該当事業：まちづくり・文化
- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：静岡県周知郡森町
- ・人数：寺族2名・檀徒50名・信徒16



名・一般200名

- ・要旨：檀信徒、地域住民をお寺へ集めて、支部独自で一隅を照らす運動大会を行っている。一隅を照らす運動の一環として、様々な講座を開いている。

信越教区本部

長岳寺支部（入亮純支部長）

- ・事業名：沙羅双樹子どもまつり
- ・活動年数：10年
- ・該当事業：教育・まちづくり・リサイクル・文化・地域のリーダー養成
- ・回数：年間通じて1回
- ・場所：長野県下伊那郡阿智村
- ・人数：寺族2名・檀徒2名・信徒3名・一般1名
- ・要旨：沙羅双樹の木の花が満開の頃に地域の子どもたちを招き、命の大切さと尊さを教えるために開催している。情操教育の要素を持ちながら、受動的な参加でなく能動的な参加になるようプログラムをつくり開催している。



神奈川教区本部

興禅寺支部（金子慈淵支部長）

- ・事業名：雅楽を通じて地域との関係
- ・活動年数：40年
- ・該当事業：文化
- ・回数：年間通じて5回
- ・場所：県内寺院・神社

- ・要 旨：県内の寺院や神社等での演奏を開催し文化交流をしている。

南総教区本部

萬福寺支部（奈良康信部長）

- ・事業名：萬福寺サロンいこい
- ・活動年数：9年
- ・該当事業：環境保全・福祉・文化・清掃奉仕・慰問
- ・回数：年間通じて28回
- ・場所：千葉県鴨川市天津
- ・人数：寺族3名・檀徒18名・一般8名
- ・要 旨：カリキュラムの内容は、色々な学習内容を加味して総合的なカリキュラムを構成している。特に社会的な様々な問題や事件災害等々に対応できるよう警察の消防関係者から日常生活のアドバイス講座などを開催し地域社会に貢献している。

群馬教区本部

禅養寺支部（小出晃正支部長）

- ・事業名：清掃奉仕・環境保全・慰問・災害時の見舞い
- ・活動年数：8年
- ・該当事業：清掃奉仕・環境保全・慰問
- ・回数：年間通じて6回
- ・人数：寺族3名・檀徒30名・一般4名
- ・要 旨：小学生通学路沿いの雑木林の手入れなどをして美化、安全な環境を保



てるよう活動している。また、東日本大震災被災地の仮設住宅にお見舞い訪問をして心のケアを行っている。

群馬教区本部

常光寺支部（堀越教之支部長）

- ・事業名：「下仁田ジオパーク」青倉エリアの環境保全・清掃活動と仏教文化・教育による生きがいの創造事業
- ・活動年数：7年
- ・該当事業：清掃奉仕・環境保全・教育・まちづくり・文化
- ・回数：年間通じて12回
- ・場所：群馬県下仁田町
- ・人数：寺族4名・檀徒42名・信徒1名・一般4名
- ・要 旨：常光寺「共生の会」は、一隅を照らす運動の行動の柱である「生命」「共生」「奉仕」をさらに具体化させ、「学ぶ」「祈る」「ボランティア」として活動している。主に下仁田ジオパークの環境保全と清掃活動に取り組んでいる。

栃木教区本部

壬生寺支部（渡邊光喜支部長）

- ・事業名：壬生寺円仁太鼓演奏
- ・活動年数：40年
- ・該当事業：清掃奉仕・環境保全・福祉・まちづくり・慰問・リサイクル



- ・回数：年間通じて10回
- ・場所：栃木県下都賀郡壬生町
- ・人数：寺族4名・檀徒100名
- ・要旨：壬生寺円仁太鼓のグループが老人施設やグループホームなどを訪問し、和太鼓の演奏をして福祉活動を行っている。

栃木教区本部

龍泉寺支部（源田俊昭支部長）

- ・事業名：ボーイスカウト足利第1団集会・一隅の会清掃活動
- ・活動年数：55年・5年
- ・該当事業：清掃奉仕・教育
- ・回数：年間通じて30回・12回
- ・場所：栃木県足利市助戸
- ・人数：寺族3名・檀徒10名・信徒10名・一般50名
- ・要旨：自然や社会の中で活動しながら、一隅を照らす精神を身につけながら環境保全や清掃奉仕活動を行っている。

安楽律法流本部

宗休寺支部（佐藤舜海支部長）

- ・事業名：お寺で憩う多世代型居場所づくり・関善光寺ふれあいプロジェクト
- ・活動年数：3年
- ・該当事業：福祉・まちづくり
- ・回数：年間通じて5回
- ・場所：岐阜県関市
- ・人数：寺族1名・一般35名
- ・要旨：市民活動団体やボランティアが主体となって、お寺を舞台にして屋外ライブイベントなどの事業を開催してまちづくりの活動を行っている。

■一隅を照らす運動推進大会■

○京都大会

平成24年10月18日、京都教区本部（穴穂行弘教区本部長）では、京都市左京区眞正極楽寺本坊を会場に、京都教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、約200名の参加者が集まった。

まず日本包丁道清和四條流家元による式包丁の奉納に続き、華道家元次期四十六世の池坊由紀師を講師に招き「いのちをいかす、生け花の美と心」と題して、池坊家の歴史、華道の精神性についてご自身の著書を中心に大変わかりやすく講演された。

参加者の中には華道を嗜む方も多く、熱心にメモを取りながら聞き入っていた。



○茨城大会

茨城教区本部（酒井貫全教区本部長）では、平成24年10月26日、二本松寺（茨城県潮来市・森良仁支部長）を会場に、第17回一隅を照らす運動茨城教区本部推進大会を開催し、住職・寺族・檀信徒ら約200名が参加した。

今大会は、「社会の中に一隅を照らす精神と意識を高め、実践する機会となることを目的とする」をテーマに実施され、始めに酒井本部長導師のもと法楽が行われ、その後、「伝教大師鑽仰和讃」が奉納された。

篤行者表彰があり、小学校に米作りとさ



つまいも作りの土地の無償提供・事前準備・植え付けなどを行っている平山清一氏が総本部長賞を表彰された。

続いて、主催者である酒井本部長の挨拶。来賓の福惠善高同運動総本部長と船戸俊宏茨城教区宗議会議員より祝辞があった。

また、松永博臣事務局長より一隅を照らす運動活動報告があった。

記念講演では、比叡山延暦寺一山最乗院住職高川慈照師を講師に招かれ、「十二年籠山行の修行と生活」と題した法話があった。

講演の中で高川師は「家族の絆が大事、思いやる心をもつことだ」と語った。その後、沼田妙佳住職率いるバンドによるミニコンサートが行われ、参加者全員で歌唱した。最後に、教区議会議員より挨拶があり、閉会となった。

茨城教区本部では、推進大会を寺門興隆の良い機会と位置づけ、教区内の寺院を会場に大会を開催している。

○信越大会

信越教区本部（師田香雪教区本部長）では、平成24年10月26日に信越教区小県部津金寺を会場に、信越教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、約350名が参加した。

まず最初に師田本部長導師のもと法楽が執り行われ、参加者一同で『般若心経』、宗祖ご聖文をお唱えした。

次に師田本部長、会場寺院の津金寺住職

矢崎大祐師より開会の挨拶が述べられた。次に天台宗参務阿部昌宏財務部長、吉澤道人信越教区宗議会議員、吉澤圓敬信越教区布教師会長より祝辞が述べられた。

次に師田教区本部長より実践者表彰が行われ、参加者全員で一隅を照らす運動推進の誓いを述べた。

記念講演では、講師にひろさちや先生による「八万四千の光」と題して講演があった。

講演の中で『妙法蓮華経』の中では（諸法実相）という言葉があり、それは誰しものが宝物のように尊いのです。」と講演され信越教区一隅を照らす運動推進大会は閉会となった。



○滋賀大会

平成24年10月26日、滋賀教区本部（長山慈信教区本部長）では比叡山延暦寺横川を会場に、「一隅を照らす運動」滋賀教区推進大会を檀信徒総会と併せて開催し、住職・檀信徒ら約250名が参加した。

開会式を横川駐車場でを行い、横川中堂で長山本部長を導師のもと法楽が行われた。

つづいて、横川中堂をはじめ各諸堂や境内地を参加者全員で清掃した。その後、布教師会幹事が、横川中堂、元三大師堂、恵心堂、根本如法塔をそれぞれ説明し、参拝した。

参加者からは「世界遺産の延暦寺を清掃し参拝するという大変貴重な体験をした」という声があり大変好評であった。

閉会式では副実行委員長吉田慈敬師より閉会挨拶があり、滋賀教区一隅を照らす運動推進大会は閉会となった。



○山陰大会

平成24年11月9日、山陰教区本部（見上知正教区本部長）では鳥取県羽合温泉「羽衣」を会場に、「一隅を照らす運動」山陰教区推進大会を檀信徒研修会と併せて開催し、住職・檀信徒ら約50名が参加した。

閉会式では見上本部長を導師のもと「山家学生式」をお唱えした。続いて見上教区本部長、青砥治朗檀信徒会会長より開会の挨拶、福恵善高同運動総本部長より祝辞が述べられた。

第一部では落語家露の団姫氏による「一隅を照らす落語」が講演された。

第二部では湯梨浜町文化財保護委員佐々木靖彦氏による「東郷湖周辺の歴史遺産」が公演された。

参加者からは「一隅を照らすという言葉について、落語を通じてお話していただき、よく理解することができた」という声があり大変好評であった。

また「私達の土地にある歴史遺産をこれからも守っていききたい」と話す参加者の声もあった。



最後に一隅を照らす運動キャラクターしようぐうさんと参加者一同で記念撮影し、山陰教区一隅を照らす運動推進大会は閉会となった。

○近畿大会

近畿教区本部（高岡保博教区本部長）では、平成24年11月18日に高槻市の神峯山寺（近藤真道支部長）を会場に、一隅を照らす運動近畿大会を開催し、檀信徒約120名が参加した。

近藤支部長司会のもと高岡本部長より開会の挨拶、続いて福恵善高一隅を照らす運動総本部長より祝辞があった。

今大会では、一隅を照らす運動と協力体制にある、非営利活動法人アムダ（AMDA）代表の菅波茂氏を講師に迎えて「市民参加型人道支援外交について」と題して講演。アムダと一隅を照らす運動の関係、アムダを立ち上げるきっかけに宗教との関わりが



あったことなどを話された。

また、アマダは相手を尊重して救援活動を行う事を第一に掲げており、国際的にも珍しくAMDA独自の考えである。

最後に、近藤真道支部長より挨拶があり、閉会となった。

ニュース News

◎比叡山中学校が東日本大震災義援金を寄託

平成24年10月5日、比叡山中学校ボランティア委員長が来庁し、9月25日、26日に比叡山中学校で行われた文化祭でのバザーの売り上げ金15,155円を福恵善高一隅を照らす運動総本部長に東日本大震災義援金として寄託した。

ボランティア委員長は「昨年の東日本大震災において、まだまだ復興されていない地域の為に役立てて下さい」と熱い思いを述べた。



◎第十二回一隅を照らす運動公開講座を開催

一隅を照らす運動総本部では、第12回一隅を照らす運動公開講座を平成24年10月31日に天台宗務庁で開催した。第12回となるこの度の公開講座では、「あこがれ」と題し、北嶺大行満大阿闍梨・延暦寺一山伊崎寺住職の上原行照師が講演、ひろく一般から



300名の参加者が集まった。

講演では、上原行照師が千日回峰行をされるまでの経緯を話され参加者は聞き入っていた。また、上原阿闍梨より直接、参加者に質問がないか尋ねられる場面もあり、会場が一体となって盛り上がった。またその後も植月百枝アナウンサーから質問があり、上原阿闍梨より会場の参加者に力づけるメッセージがおくられた。

◎山陰教区本部が清掃活動を実施

平成24年11月10日、山陰教区本部（見上知正教区本部長）では鳥取県東伯郡湯梨浜町東郷湖において、教区本部清掃活動が実施された。

参加者は教区内住職6名、各寺院檀信徒60名にて東郷湖周辺を移動しながらゴミ収集を行った。

清掃活動を行った参加者は「思っていたよりゴミが多く、胸が締め付けられる思い。



我々の大切なふるさとの一部、環境保全に取り組みたい」と思いを述べた。

東郷湖は周囲約12km、「鶴の湖」の愛称で親しまれており、県立自然公園の一部をなす汽水湖。山陰八景の一つに数えられている。

◎NHKに義援金寄託

平成24年12月5日、総本部ではNHK歳末たすけあいと海外たすけあいへ義援金を寄託した。

当日は、NHK天津放送局から辻田和則局長らが来庁し、阿純孝一隅を照らす運動理事長、武覚超同運動副理事長がそれぞれ義援金を手渡した。歳末たすけあいには、同月1日に比叡山山麓坂本で行われた「天台宗全国一斉托鉢」の浄財423、852円が、海外たすけあいには地球救援事務局から100万円が寄託された。

また、寄託式には延暦寺幼稚園から竹林幸祥園長先生と、園児と保護者8名も出席し、秋に行われたバザーの収益金が、園児達から辻田局長に手渡された。

辻田局長は「本日お預かりしました浄財は恵まれない方々に、有効に使わせていただきます」と述べた。



◎叡山学院が浄財を寄託

平成24年12月19日叡山学院生が来庁し、平成24年11月10、11日京都文化博物館にお

いて行われた「叡山学院墨跡展」での売上金105万円と、同年12月14日に「叡山学院托鉢」で集まった浄財176,944円の合計1,226,944円を東日本大震災復興支援として、一隅を照らす運動福恵善高総本部長に寄託した。

この「墨跡展」は学生が書を通した修行の成果を披露する場として毎年開催されているもので、展示された書は一部頒布されており、今回寄託した支援金はこれらの売り上げによるもの。

また、「托鉢」は叡山学院生で組織された「玉泉会（ぎょくせんかい）」主催で実践仏教の一環として、毎年天津市園城寺（三井寺）界隈で行われているもので、20数年続けられており、今年は41名が戸別托鉢を行った。

学生の代表者は「東日本大震災から1年9ヶ月が経過したが、今なお不自由な生活を送っている方々がたくさんおり、一日も早い復興のために有効に使って下さい」と思いを述べた。



◎三千院門跡が浄財を寄託

平成24年12月25日、三千院門跡（小堀光詮門主）の大島亮幸執事長が天台宗務庁に来庁し、平成24年12月23日京都市左京区大原の三千院一帯において行われた「托鉢寒行」で集まった浄財100万円を東日本大震災義援金として、一隅を照らす運動福恵善

高総本部長に寄託した。

平成24年12月23日午前8時20分、小堀門主ら約60人が4班に分かれて三千院を出発、約4時間をかけて約700戸を巡った。

大原地区は当日、氷点下近くまで冷え込み、小堀門主は民家や土産物店などの軒先で白い息を吐きながら経文を唱えた。

今回寄託された支援金は東日本大震災義援金として復興に役立てられる。



◎比叡山高校宗内生が托鉢の浄財を寄託

平成25年1月15日比叡山高校宗内生7名、教員1名が来庁し、平成24年12月9日（日）大津市仰木地域一帯において行われた「寒行托鉢」で集まった浄財95,500円を地球救援募金として福恵善高一隅を照らす運動総本部長に寄託した。

この托鉢は宗内生が、実践仏教の一環と



して毎年12月に行っているもので、黒素絹に手甲、脚絆、網代笠姿に装束を整え、法螺貝を吹きながら家々を行脚した。

玄関先では般若心経を唱えて家内安全などを祈願した。

宗内生は「高校生の私達に浄財を預けていただき、大変身が引き締まる思いでした」と述べた。

◎インド パンニヤメッタ学園校舎増築落成式



平成25年2月7日インド・ナグプール市内にある「パンニヤ・メッタ学園」の新校舎増築落成式が一隅を照らす運動福恵善高総本部長導師のもと執り行われた。

この新校舎は昨年度の新校舎地鎮祭で土地を清められ、約一年をかけて工事を進め、晴れてこの度、落成式を迎えた。

福恵総本部長は「新しくできた校舎を大切に使って下さい。一生懸命勉強すること、人に優しくすることを約束して下さい」と祝辞を述べた。

その後、生徒によって催された歓迎セレモニーでは、子供達の希望に満ちあふれた表情がとても印象的であった。

「パンニヤ・メッタ学園」は同国ポーニ市ルヤード村にある「禅定林」サンガラトナ・法天・マナケ住職が運営しており、一隅を照らす運動総本部は平成6年から支援を続けている。



一隅を照らす運動 

私たちにできることから始めよう



国内外救援活動 / 全国一斉托鉢 / アジア諸国支援活動

皆さまからのあたたかい募金は、国内外の救援・教育支援、地球温暖化防止などに活かされています

 天台宗 一隅を照らす運動「地球救援事務局」

〒120-0113 東京都大塚市塚本4-4-2 高社団康行内
TEL 077(579)0022 FAX 077(579)2516
URL <http://ichigo.net> E-mail info@ichigo.net